

平成21年度 施策評価票

政策の柱	美しい環境を大切に未来につなぐまち	主要施策目標	生活環境を保全するまちをつくる
基本施策目標	市民生活にうるおいとやすらぎを与えるまちをめざす		施策番号 4-3-1

主管課	市民環境部 環境保全課			関係部課	環境保全課、市民生活課、環境清掃課				
記入者	須山	電話	1421						
施策の概要	目的				対象				
	身近な生活環境を維持・向上していくため、市民・事業者・行政などが連携し、水・空気・緑などの環境を保全するまちをめざします。				市民・団体				
	現状				展開の方針				
市民の生活環境の維持のため、犬猫の適正使用の啓発・周知や、公衆浴場施設への助成、生活改善運動の推進等に取り組んでいます。 また、大気や騒音等の環境調査や監視活動及び不法投棄を防止するための監視・巡回・指導を行っています。				住民の快適な生活環境を維持し、住みよい地域を形成していくため、生活環境の向上に関する調査や周知啓発活動の強化に努めます。 また、生活環境美化に関する活動や体制づくりを行い、水・空気・緑などの生活環境に及ぼす影響の少ない、日常生活がすこやくなるための地域づくりを進めます。					
市民効果指標	指標名			単位	H18年度	H19年度	H20年度	H22年度	達成率
	一般大気環境基準達成率			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0% AA
	狂犬病予防注射頭数			頭	10,024	10,483	11,049	11,227	98.4% A
	不法投棄量			t	73.0	49.0	37.0	29.6	80.0% A
第8次基本計画目標値	騒音環境基準達成率			%	66.6	100.0	100.0	100.0	100.0% AA
	ごみ拾い運動などの環境美化活動が盛んであると思う市民の割合			%	52.4(H16)	-	53.4	76.0	70.3% C
	ごみの不法投棄の対策が十分であると思う市民の割合			%	25.5(H16)	-	22.0	45.0	48.9% C
市民満足度調査結果	項目				そう思う割合		ややそう思う割合		得点
	ごみ拾い運動などの環境美化活動が盛んである				H20	12.0%	41.4%		3.52
					H16	17.6%	34.8%		3.46
	ごみの不法投棄対策が十分に行われている				H20	4.1%	17.9%		2.67
					H16	8.2%	17.3%		2.62
補足・説明等									

主要事務事業の評価結果

	上段：事務事業名	実績及び見込（上段：事業費（万円）、下段：職員数）				評価結果		展開の方向	今後の方向性
	下段：担当課名	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	1次	2次		
1	生活簡素化推進事業		95.6			B	B	継続	実行委員会で実態調査・研究を行い、市民運動拡大に向け方策を探る
	市民生活課	0.01	0.01	0.01	0.01				
2	大気汚染調査	48.9	48.9	48.9	48.9	A	A	継続	汚染状況の変動把握のため、引き続き定点での調査を実施
	環境保全課	0.15	0.15	0.15	0.15				
3	ダイオキシン調査	514.5	521.9	521.9	504.0	AA	A	継続	県と連携を図り、引き続き充実した監視体制とする
	環境保全課	0.25	0.25	0.25	0.25				
4	環境調査（騒音）	3,625.0	3,531.0	3,198.0	3,520.0	AA	A	拡大	合併地域の調査箇所拡大の必要がある
	環境保全課	0.08	0.08	0.08	0.08				
5	悪臭防止対策技術支援事業	86.1	86.1	0.0	82.0	A	B	縮小	対象事業所数を減らし(3/2)今後も継続して支援
	環境保全課	0.10	0.10	0.00	0.10				
6	産業廃棄物施設周辺監視	30.0	30.0	30.0	30.0	A	B	継続	汚染状況の変動把握のため、引き続き定点での調査を実施
	環境保全課	0.01	0.01	0.01	0.01				
7	狂犬病予防事業	287.0	288.0	287.0	287.0	A	A	継続	広報特集号や啓発チラシの配布等で飼い主に周知を継続
	環境保全課	1.13	1.13	1.13	1.13				
8	地域猫管理活動支援事業			89.0	89.0	B	B	継続	依然として頭数が多く、今後も助成を継続
	環境保全課			0.02	0.02				
9	公衆浴場経営安定化等事業	738.5	972.5	878.0	1,186.5	B	B	継続	事業者の自助努力には限界があり、今後も一定の助成を継続
	環境保全課	0.1	0.10	0.10	0.10				
10	不法投棄対策事業	244.0	348.0	297.0	272.0	A	A	継続	より豊かで美しい環境の街「松本市」づくりを目指す
	環境清掃課	1.20	1.20	1.20	1.20				

区 分	施策の事業展開							4-3-1
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H23以降	備 考
生活環境の向上に関する調査や周知啓発の強化								A 継続
	大気汚染調査							A 継続
	ダイオキシン調査							A 継続
	環境調査(騒音)							A 拡大
	悪臭防止対策技術支援事業							B 縮小
	不法投棄対策事業							A 継続
日常生活が過ごしやすいするための地域づくり	産業廃棄物施設周辺監視							B 継続
	狂犬病予防事業							A 継続
	公衆浴場経営安定化等事業							B 継続
	生活簡素化推進事業							B 継続
	地域猫管理活動支援事業							B 継続

施策及び事務事業の体系

評価ランク	評価理由	今後の方向性	市民委員会意見
	<p>環境調査及び監視を継続的な行い、地域の環境における汚染等の変動を把握している。</p> <p>狂犬病予防にかかる犬の登録注射等の啓発、地域猫の管理活動支援、公衆浴場の経営安定化支援を通じて市民の生活環境の保持に貢献している。</p> <p>市民効果指標の達成率は高い状況にあるが、第8次基本計画の達成率は進捗状況に差異がある。</p> <p>ごみの不法投棄対策に関する市民満足度は低い状況にあるが、不法投棄量は減少し、環境美化活動が盛んに行われている。</p>	<p>快適な生活環境を維持し、住みよい地域を形成していく。汚染状況の変動を把握するためには、定点での調査が必要であり、引き続き調査を行っていく。</p> <p>また、市民の生活環境を保持するため、生活簡素化等市民運動の継続や、公衆浴場経営安定化等必要な助成は継続していく。</p> <p>市民委員会からの空家・空地の環境美化対策については、空き缶等のポイ捨ての防止等及び環境美化に関する条例に沿いながら、清潔で美しいまちづくりをさらに進めていく。</p>	<p>環境調査など生活環境の向上にかかわる施策は非常に重要です。より高度かつ厳格なレベルで実施することを期待しています。</p> <p>現在、生活環境を保全し、美しいまちをつくる取り組みが推進されていますが、毎年増加している空家や空地もこれらを阻害する要因の一つであると考えられます。</p> <p>空家・空地対策を強化するとともに、環境を悪化させる要因や違反者には厳しい姿勢でのぞんでください。</p>

総合評価

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		生活簡素化推進事業				1						
		担当部課	市民環境部	市民生活課	課コード	041000						
			記入者	藤崎	電話	1414						
第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち			予算科目	会計 一般会計						
	3	生活環境を保全するまちをつくる				款・項 商工費・商工費						
	1	市民生活にうるおいとやすらぎを与えるまちをめざす				大業 消費者保護費						
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)							
	市民、市役所の職員		「暮らしの無駄を省き、心のもったお付き合いの習慣を築こう。」の趣旨のもと、「生活簡素化実施要項」の定着を図る。									
	事業内容・計画				基礎となる計画							
	1 昭和48年、松本市町会連合会から生活改善運動の推進について要望、49年、31機関・団体で構成する松本市生活簡素化実行委員会を設立し、同年、松本市生活簡素化実施要項を制定しました。 2 以降、要項の一部改正を重ね、平成20年4月、最終改正を行い、ポスターやチラシによる周知啓発により市民総意の運動推進を図っています。 3 平成20年の改正後、実行委員会において市民への普及状況の検証を行い、実効性のある運動推進に取組みます。				市民要望(ニーズ)等の状況 国・県・民間等における類似事業 根拠法令等 松本市町会連合会、松本市議会から運動推進について要望 松本市生活簡素化実施要項							
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値					
2 事業執行 (DO)	事業費	総事業費	万円	8.5	104.2	8.7	8.7	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		事業費	万円		95.6				必要性	A	A	
		(内訳)							有効性	B	B	
		国・県補助金	万円						効率性	B	C	
		市(一般)	万円		95.6				公平性	AA	AA	
		市(起債)	万円						優先性	C	C	
		その他( )	万円						総合評価	B	B	
		減価償却費	万円						必要な運動であることは認知されているが、実際の行動につながりにくい。			
		人件費	万円	8.5	8.6	8.7	8.7		4 展開 (ACTION)			
		(職員数)										
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	展開の方向	展開の手段				
	嘱託職員	人					拡大	委託化				
	臨時職員	人					継続	市民参加				
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	縮小	事業主体の見直し				
事業費に対する収入等の割合	%					廃止	手続きの見直し					
コスト	単位当たりコスト	円					休止	業務の見直し				
	市民一人当たりコスト	円	0	5	0	0	統合	規模の見直し				
指標	対前年度伸び率	%				H20目標達成率	平成21年度は、実行委員会において実態調査・研究を行い、市民運動拡大へ向けた方策を探る。					
	対前年度伸び率	%				H20目標達成率						
市民協働	松本市町会連合会をはじめ、関係機関・団体による実行委員会形式											
備考												

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		大気汚染調査						2					
		担当部課		市民環境部 環境保全課		課コード		041500					
		記入者		林		電話		1424					
事業期間		平成 10 年度 ~ 平成 年度		予算科目		会計		一般会計					
第8次基本計画の位置付け		4 美しい環境を大切に未来につなぐまち		3 生活環境を保全するまちをつくる		1 市民生活にうるおいとやすらぎを与えるまちをめざす		款・項 衛生費保健衛生費					
						大事業		公害対策関係費					
1 概要 (PLAN)		対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)								
事業の目的		市内一般大気環境			市内の大気汚染状況を把握して、大気汚染防止対策に努めます。								
事業内容・計画		内容			基礎となる計画								
		市内4カ所(寿台中公園、島内出張所、大久保第2水源地、東部交番)に拡散型サンプラーを設置して、測定地点における一般大気環境中の二酸化硫黄と二酸化窒素の濃度を1ヶ月ごとに測定しています。			松本市環境基本計画								
		市民要望(ニーズ)等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
					県による大気常時監視(一般環境大気測定局(固定局)、移動コンテナ局、大気環境測定車)		大気汚染防止法						
成果指標活動指標		指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値					
		一般大気環境基準		%	二酸化硫黄基準達成率			100.0					
2 事業執行 (DO)		項目	単位	実績			見込		3 評価・分析 (CHECK)				
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	評価項目		第1次評価	第2次評価		
		総事業費	万円	176.4	178.1	178.8	178.8	必要性		AA	A		
		事業費	万円	48.9	48.9	48.9	48.9	有効性		A	A		
		(内訳)						効率性		A	B		
		国・県補助金	万円					公平性		A	A		
		市(一般)	万円	48.9	48.9	48.9	48.9	優先性		A	B		
		市(起債)	万円					総合評価		A	A		
		その他( )	万円					継続的な調査により大気環境中の二酸化硫黄と二酸化窒素濃度をモニタリングすることで、大気汚染状況の変動を把握することができます。					
		減価償却費	万円					展開の方向					
		人件費	万円	127.5	129.2	129.9	129.9	展開の手段					
		(職員数)						拡大	委託化				
		正規職員	人	0.15	0.15	0.15	0.15	継続	市民参加				
		嘱託職員	人					縮小	事業主体の見直し				
		臨時職員	人					廃止	手続きの見直し				
		合計	人	0.15	0.15	0.15	0.15	休止	業務の見直し				
		事業費に対する収入等の割合	%					統合	規模の見直し				
コスト		単位当たりコスト	円					4 展開 (ACTION)					
		市民一人当たりコスト	円	8	8	8	8						
指標		一般大気環境基準	%	100	100	100	H20目標達成率						
		対前年度伸び率	%		100.0	100.0	100.0%						
			%				H20目標達成率						
		対前年度伸び率	%		-	-							
市民協働							大気汚染状況の変動を把握するためには定点での調査が必要であるため、引き続き同地点での調査を実施。						
備考													

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		ダイオキシン調査				3									
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 11 年度 ~ 平成 年度				担当 部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500						
						記入者	佐藤	電話	1423						
	第8次基本 計画の位置 付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				予算 科目	会計	一般会計						
		3	生活環境を保全するまちをつくる					款・項	衛生費・保健衛生費						
	1	市民生活にうるおいとやすらぎを与えるまちをめざす				大事業	公害対策関係費								
2 事業執行 (DO)	事業の 目的	対象(誰を・何を)  産業廃棄物焼却施設周辺環境大気				意図(どういう状態にしたいのか)  市民のダイオキシン類への不安を解消し、良好な生活環境の確保に努めます。									
	事業内容 ・計画	内 容				基礎となる計画									
		産業廃棄物焼却施設周辺の6地区、15地点に測定器を設置、24時間試料を採取し、ダイオキシン類の分析を行います。調査は年2回ですが、焼却施設が複数設置されている地区については年4回実施しています。				第2次松本市環境基本計画									
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等									
	ダイオキシン類に対する関心が高く、特に焼却施設周辺に居住する住民の関心は高いです。		県が「産業廃棄物焼却施設等周辺調査」として、市とは異なる地点、2か所で年2回調査を行っています。		ダイオキシン類対策特別措置法										
成果指標 活動指標	指標名称				単位	指標の計算式等		H22目標値							
	地区別年平均値が全国平均値を下回る				%	全国平均値を下回った地区 / 6地点		100.0							
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単位	実 績			見込	評価項目	第1次評価	第2次評価						
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度									
	(内 訳)	総事業費	万円	727.0	737.2	738.4	720.5	必要性	AA	A					
		事業費	万円	514.5	521.9	521.9	504.0	有効性	AA	A					
		国・県補助金	万円					効率性	AA	A					
		市(一般)	万円	514.5	521.9	521.9	504.0	公平性	A	B					
		市(起債)	万円					優先性	A	B					
		その他( )	万円					総合評価	AA	A					
	(職 員 数)	減価償却費	万円					産業廃棄物焼却施設周辺におけるダイオキシン類濃度を監視し、焼却施設の不正操業防止と市民のダイオキシン類への不安を解消するために必要な事業です。							
		人件費	万円	212.5	215.3	216.5	216.5								
		正規職員	人	0.25	0.25	0.25	0.25								
		嘱託職員	人												
		臨時職員	人												
		合計	人	0.25	0.25	0.25	0.25	展開の方向							
		事業費に対する収入等の割合	%								展開の手段				
コスト	単位当たりコスト	円					拡大							委託化	
	市民一人当たりコスト	円	32	32	32	32	継続							市民参加	
指標	地区別年平均値が全国平均値を下回る	%	100	100		H20目標達成率	縮小	事業主体の見直し							
	対前年度伸び率	%		100.0	0.0	100.0%	廃止	手続きの見直し							
	対前年度伸び率	%		-	-		休止	業務の見直し							
							統合	規模の見直し							
市民協働	今後も継続的な監視を行う。県と連携を図り、より充実した監視体制とする。														
備考	平成20年度の全国測定値は12月頃発表。														

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		環境調査(騒音)				4				
1 概要 (PLAN)	事業期間	13年度 ~ 平成 年度				担当部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500	
						記入者	上條	電話	1423	
	第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				予算科目	会計	一般会計	
		3	生活環境を保全するまちをつくる					款・項	衛生費 保健衛生費	
	1	市民生活にうおいとやすらぎを与えるまちをめざす				大事業	公害対策関係費			
2 事業執行 (DO)	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)				
		市民環境の調査				騒音規制法に基づき、市内の道路周辺の環境を継続的に調査することにより、基準の達成状況の調査及び環境整備の推進を図ります。				
	事業内容・計画	内 容				基礎となる計画				
		高速道路沿道、騒音規制法により指定された地域内における、交通量の多い国道等道路、一般住居地の複数個所を24時間調査しています。				松本市環境基本計画				
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
	自動車騒音にたいし、静かな生活環境が市民の要望としてあります。		騒音規制法により指定された地域の全ての自治体で、同様の調査を実施		騒音規制法					
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値			
	環境調査数		箇所				12.0			
	環境基準内		箇所				12.0			
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単位	実 績			見込	評価項目	第1次評価	第2次評価	
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度				
	(内 訳)	総事業費	万円	3,693.0	3,599.9	3,267.3	3,589.3	必要性	AA	A
		事業費	万円	3,625.0	3,531.0	3,198.0	3,520.0	有効性	AA	A
		国・県補助金	万円					効率性	A	A
		市(一般)	万円	3,625.0	3,531.0	3,198.0	3,520.0	公平性	AA	B
		市(起債)	万円					優先性	A	B
		その他( )	万円					総合評価	AA	A
	(職員数)	減価償却費	万円					市民生活の環境調査、快適な生活環境の推進に貢献しています。		
		人件費	万円	68.0	68.9	69.3	69.3			
		正規職員	人	0.08	0.08	0.08	0.08			
		嘱託職員	人							
		臨時職員	人							
	合計	人	0.08	0.08	0.08	0.08				
		事業費に対する収入等の割合	%							
コスト	単位当たりコスト	円					展開の方向	展開の手段		
	市民一人当たりコスト	円	162	158	143	158	拡大	委託化		
							継続	市民参加		
指標	環境調査数	箇所	12	12	12	H20目標達成率	縮小	事業主体の見直し		
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	100.0%	廃止	手続きの見直し		
	環境基準内	箇所	12.0	12.0	12.0	H20目標達成率	休止	業務の見直し		
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	100.0%	統合	規模の見直し		
市民協働	専門の機器、専門家による分析が必要なため、市民協働は難しいと思われます。									
備考										
							4 展開 (ACTION)			
							継続調査により、市民環境が悪化しないよう努める。 現在の調査数では、合併した地域まで調査ができないため、調査箇所を拡大。			

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名	悪臭防止対策技術支援事業	5
-------	--------------	---

事業期間	平成 15 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500
		記入者	角	電話	1423

第8次基本計画の位置付け	4	安全で安心してゆとりをもって暮らすまち	予算 科目	会計	一般会計
	3	日常の生活が安心できるまちをつくる		款・項	衛生費 保健衛生費
	1	市民生活にうまいやすらぎを与えるまちをめざす		大業	公害対策関係費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を) 悪臭苦情が発生する恐れのある事業所への、悪臭防止対策技術支援を行う。	意図(どういう状態にしたいのか) 事業所による悪臭防止対策を進め、周辺生活環境の向上を図る。
-------------	-------	---	---

2 事業内容・計画	内容	悪臭防止技術の専門家へ委託し、悪臭苦情が発生するおそれのある事業所(市内2ヶ所)への技術支援を行い、その事業所の悪臭対策に役立ててもらうものです。	基礎となる計画 松本市環境基本計画
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
	事業所が発生する悪臭による生活環境等への影響について、市民からの改善要望が寄せられています。		悪臭防止法

3 成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値

2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度				
		総事業費	万円	171.1	172.2		168.6		必要性	A	A
		事業費	万円	86.1	86.1		82.0		有効性	A	A
		国・県補助金	万円						効率性	A	B
		市(一般)	万円	86.1	86.1	0.0	82.0		公平性	A	B
		市(起債)	万円						優先性	A	B
		その他( )	万円						総合評価	A	B
		減価償却費	万円						本技術支援により、事業所による悪臭対策がより有効に実施され、市民の快適な生活環境の推進に貢献しています。		
		人件費	万円	85.0	86.1		86.6				
		正規職員	人	0.10	0.10	0.00	0.10				
		嘱託職員	人								
		臨時職員	人								
		合計	人	0.10	0.10		0.10				

4 展開 (ACTION)	コスト	事業費に対する収入等の割合	%					展開の方向	展開の手段
		単位当たりコスト	円					拡大	委託化
		市民一人当たりコスト	円	7	8		7	継続	市民参加
		対象事業所数		3	3	0	H20目標達成率	縮小	事業主体の見直し

5 指標	対前年度伸び率	%		100.0	0.0		廃止	手続きの見直し
	対前年度伸び率	%		-	-		休止	業務の見直し

6 市民協働							統合	規模の見直し
--------	--	--	--	--	--	--	----	--------

備考	本支援事業等の結果、悪臭発生事業所が減少しているが、対象事業所数を減らし(3/2)今後も継続。							
----	---	--	--	--	--	--	--	--

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		産業廃棄物施設周辺監視				6					
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成	年度	～	平成	年度	担当 部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500	
								記入者	角	電話	1423
	第8次基本 計画の位置 付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				予算 科目	会計	一般会計		
		3	生活環境を保全するまちをつくる					款・項	衛生費保健衛生費		
	1	市民生活にうるおいとやすらぎを与えるまちをめざす					大事業	公害対策関係費			
2 事業執行 (DO)	事業の目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）					
		今井・神林地区の産業廃棄物関連施設の監視を行う。				今井・神林地区の産業廃棄物関連施設に起因する各種公害による、周辺生活環境への影響を減少させる。					
	事業内容・計画	内 容				基礎となる計画					
		委託して今井・神林地区の産業廃棄物関連施設の監視を行い、各種公害の発生状況を把握する。				松本市環境基本計画					
	市民要望（ニーズ）等の状況				国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
	今井・神林地区の産業廃棄物関連施設起因の各種公害の監視を行い、各種公害の発生状況を把握する。										
成果指標 活動指標	指標名称				単位	指標の計算式等				H22目標値	
					%						
					%						
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単 位	実 績			見込	評価項目	第1次評価	第2次評価		
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度					
	（内 訳） 事業費 （職員数）	総事業費	万円	38.5	38.6	38.7	38.7	必要性	AA	A	
		事業費	万円	30.0	30.0	30.0	30.0	有効性	A	B	
		国・県補助金	万円					効率性	A	A	
		市（一般）	万円	30.0	30.0	30.0	30.0	公平性	A	B	
		市（起債）	万円					優先性	A	B	
		その他（ ）	万円					総合評価	A	B	
		減価償却費	万円					産業廃棄物処理施設を監視し各種公害発生状況を把握することで、事業所への監視指導業務に役立てるものです。			
		人件費	万円	8.5	8.6	8.7	8.7				
		正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01				
		嘱託職員	人								
	臨時職員	人									
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01					
	事業費に対する収入等の割合	%									
コスト	単位当たりコスト	円					展開の方向	展開の手段			
	市民一人当たりコスト	円	2	2	2	2	拡大	委託化			
指標	対前年度伸び率	%					継続	市民参加			
	対前年度伸び率	%					縮小	事業主体の見直し			
	対前年度伸び率	%					廃止	手続きの見直し			
市民協働							休止	業務の見直し			
備考							統合	規模の見直し			
							大気汚染状況の変動を把握するためには定点での調査が必要であるため、引き続き同地点での調査を実施。				



平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		狂犬病予防事業				7						
		担当 部課	市民環境部	環境保全課	課コード	041500						
			記入者	掛川	電話	1421						
事業期間	年度	平成		年度								
	第8次基本 計画の位置 付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち		予算 科目	会計	一般会計					
		3	生活環境を保全するまちをつくる			款・項	衛生費・保健衛生費					
	1	市民生活にうおいとやすらぎを与えるまちをめざす		大業		畜犬登録事務費						
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)							
		全ての飼犬(飼主)			狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図るために、全ての飼犬に登録及び狂犬病予防注射が義務付けられている。							
	事業内容 ・計画	内 容				基礎となる計画						
		犬の登録	登録申請受付、鑑札の交付、登録事項の変更届、死亡届の受理、調査、管理登録台帳作成、変更等整備、管理(長野県獣医師会委託)									
		狂犬病予防注射	集合注射(26日、106会場。登録も可)、動物病院での注射実施(登録も可)									
啓発 公示	犬の登録及び狂犬病予防注射等の広報啓発、苦情処理 松本保健福祉事務所(保健所)捕獲野犬の公示											
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等							
	狂犬病予防法にもとづく義務		全ての市町村で実施		狂犬病予防法							
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値					
	狂犬病予防注射頭数		頭	狂犬病予防注射済票交付数			11227					
	狂犬病予防注射済票交付数		%	狂犬病予防注射済票交付数/登録総数			97.8					
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数) コスト 指標	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK) 4 展 開 (ACTION)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度					
		総事業費	万円	287.0	288.0	287.0	287.0			必要性	AA	A
		事業費	万円	287.0	288.0	287.0	287.0			有効性	A	A
		(内訳)								効率性	A	A
		国・県補助金	万円							公平性	A	A
		市(一般)	万円	287.0	288.0	287.0	287.0			優先性	C	B
		市(起債)	万円							総合評価	A	A
		その他( )	万円							狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進に貢献するものです。		
		減価償却費	万円							展開の方向	展開の手段	
		人件費	万円	42.7	31.8	274.4	172.0			拡大	委託化	
		(職員数)								継続	市民参加	
		正規職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80			縮小	事業主体の見直し	
		嘱託職員	人	0.33	0.33	0.33	0.33			廃止	手続きの見直し	
		臨時職員	人	0.33	0.33	0.33	0.33			休止	業務の見直し	
合計	人	1.13	1.13	1.13	1.13		統合	規模の見直し				
事業費に対する収入等の割合	%						犬の登録及び狂犬病予防注射については、広報特集号や啓発チラシの配布等で犬の飼い主に周知を継続。					
コスト												
単位当たりコスト	円											
市民一人当たりコスト	円	13	13	13	13							
指標												
狂犬病予防注射頭数	頭	10,024	10,483	11,049	H20目標達成率							
対前年度伸び率	%		104.6	105.4	98.4%							
狂犬病予防注射済票交付数	%	93.6	94.5	98.4	H20目標達成率							
対前年度伸び率	%		101.0	104.2	100.6%							
市民協働												
備考												

平成21年度 事務事業評価票 (補助金・負担金用)

事務事業名		地域猫管理活動支援事業				8						
事業期間		平成 20 年度 ~ 平成 22 年度		担当部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500					
				記入者	掛川	電話	1421					
第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち		予算科目	会計	一般会計						
	3	生活環境を保全するまちをつくる			款・項	衛生費・保健衛生費						
	1	市民生活にうるおいとやすらぎを与えるまちをめざす			大業	地域猫繁殖制限手術助成事業						
1 概要 (PLAN)	事業の目的	交付先 動物愛護会松塩筑支部ねこ部会		補助金・負担金等の目的、効果 飼い主のいない猫の増加を防止し、市民の生活環境の保持及び動物愛護の啓発を図るため、地域猫に去勢手術又は不妊手術を受けさせる者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することを目的とする。								
	事業内容・計画	補助金・負担金等の算定基準 去勢手術に要する費用 10分の10。 ただし、1匹当たり8,400円を限度とする。 不妊手術に要する費用 10分の10。 ただし、1匹当たり15,750円を限度とする。		交付先の具体的な活動内容 飼い主のいない猫の去勢・避妊手術。捨て猫の保護・譲渡。捨て猫防止のための啓発活動。アニマルセラピー活動等。								
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値						
	去勢・避妊手術頭数		頭	去勢・避妊手術実施報告頭数		70						
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円			89.0	89.0	補助金等の性格 3 評価・分析 (CHECK)	交付先区分	市民団体等		
		事業費	万円			89.0	89.0		種類別	事業費助成		
		国・県補助金	万円						性質	その他		
		市(一般)	万円			89.0	89.0		継続性	無		
		人件費	万円			17.3	17.3		最終期設定	平成22年度		
		正規職員	人			0.02	0.02		評価項目	第1次評価	第2次評価	
		嘱託職員	人						必要性	A	A	
	交付先の内容 (内訳)	市補助金等	万円			89.0	89.0	有効性	B	B		
		市以外の補助金等	万円					効率性	A	B		
		その他	万円					公平性	A	A		
	市の補助率・負担率	%			100.0	100.0	優先性	C	C	総合評価	B	B
	コスト	単位当たりコスト	円					飼い主のいない猫の増加を防止することにより、市民の生活環境の保持及び動物愛護の啓発に貢献しています。				
	市民一人当たりコスト	円			4	4	展開の方向					
	指標	去勢・避妊手術頭数	頭			73	H20目標達成率	拡大	地域によっては頭数の減少しているところはあるものの、全体としては依然として頭数が多いので、今後も助成を継続。			
		対前年度伸び率	%			-	104.3%	継続				
対前年度伸び率	%			-	-	H20目標達成率	縮小					
対前年度伸び率	%			-	-		廃止					
備考								休止				
								統合				

平成21年度 事務事業評価票 (補助金・負担金用)

事務事業名	公衆浴場経営安定化等事業	9
-------	--------------	---

事業期間	昭和 55 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500
		記入者	永原	電話	1421

第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち	予算 科目	会計	一般会計
	3	生活環境を保全するまちをつくる		款・項	衛生費・保健衛生費
	1	市民生活にうらおいとやすらぎを与えるまちをめざす		大業	補助金

1 概要 (PLAN)	事業の目的	交付先	補助金・負担金等の目的、効果		
	事業内容・計画	補助金・負担金等の算定基準	交付先の具体的な活動内容		
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等		
	成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値

公衆浴場法に規定する公衆浴場であって、物価統制令の規定により入浴料金が定められている公衆浴場(いわゆる銭湯)

厳しい経営環境下にある公衆浴場の経営の安定化を促進することにより、特に自家風呂を持たない地域住民の入浴の機会を確保し、公衆衛生の向上を図るとともに、住民の健康の増進や住民相互の交流の促進等住民福祉の向上を図るものです。

経営安定化事業(営業者の直接経営に要する経費に補助)  
1日当たりの入浴者数に応じて、77千円、180千円、223千円、432千円、499千円の5段階

設備改善事業(新設、増設又は改造に要する経費に補助)  
基幹設備・・・2/3以内、限度額2,000千円  
ふれあい施設・・・1/3以内、限度額1,000千円  
(1日当たりの入浴者数が150人以上の場合、いずれも1/5以内、限度額600千円)

公衆浴場の経営

国・県・民間等における類似事業

根拠法令等

公衆浴場の利用者が全体として減少する一方、特に高齢者を中心に、住居に近く利便性の高い公衆浴場に対しては根強いニーズがあります。

県は、市町村が営業者に対して実施する助成事業に要する経費の1/2以内を補助しています(ただし、1日当たりの入浴者数が150人未満の場合のみ)

・公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律  
・松本市公衆浴場経営安定化事業等補助金交付要綱

市内の公衆浴場(銭湯)数

浴場

H20年度水準を維持

1日当たり平均入浴者数(大人換算)

人

年間入浴者数(大人換算)÷延べ営業日数

H20年度水準を維持

2 事業執行 (DO)	事業費 (職員数)	項目	単位	実績			見込	補助金等の性格 3 評価・分析 (CHECK)	交付先区分	事業者等	
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度			種類別	事業費助成
		総事業費	万円	823.5	1,058.6	964.6	1,273.1			性質	任意的
		事業費	万円	738.5	972.5	878.0	1,186.5			継続性	有
		国・県補助金	万円	176.5	162.3	360.6	518.0			最終期設定	無
		市(一般)	万円	562.0	810.2	517.4	668.5			評価項目	第1次評価 第2次評価
		人件費	万円	85.0	86.1	86.6	86.6			必要性	A A
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10			有効性	B B
		嘱託職員	人							効率性	A B
		臨時職員	人							公平性	B B
		合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10			優先性	B B
		総事業費	万円	870.5	1,445.6	878.0	1,186.5			総合評価	B B
		市補助金等	万円	738.5	972.5	878.0	1,186.5			公衆浴場は、高齢者を中心とした入浴の機会の確保という面のみならず、高齢者間・世代間のふれあいの場という社会的役割も担っており、スーパー銭湯をはじめとする競合施設の影響を受け、利用者の減少に苦しんでいる中で、上記の役割を十分果たせるよう公的な助成が必要です。	
		市以外の補助金等	万円	132.0	473.1	0.0	0.0			展開の方向	公衆浴場の入浴料金は、経営状況にかかわらず一律に規定されており、燃料費の高騰や設備投資を料金に転嫁できないため、営業者の自助努力には限界があり、今後も経営の安定化のために一定の助成を継続する。
		市の補助率・負担率	%	84.8	67.3	100.0	100.0		拡大		
コスト	件	17	24	22	24	継続					
補助件数	件	17	24	22	24		縮小				
単位当たりコスト	円	484,412	441,083	438,455	530,458		廃止				
市民一人当たりコスト	円	36	46	42	56		休止				
市内の公衆浴場(銭湯)数	浴場	13	12	11	H20目標達成率		統合				
対前年度伸び率	%		92.3	91.7	-						
1日当たり平均入浴者数(大人換算)	人	73.1	70.9	74.3	H20目標達成率						
対前年度伸び率	%		97.0	104.8	-						
備考	設備改善事業に対する補助は、H19年度までは、県と市がそれぞれ補助を行っていましたが、県の要綱改正により、H20年度から県の補助は市の助成事業に対する間接補助となっています。										

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		不法投棄対策事業				10					
		担当 部課	市民環境部	環境清掃課	課コード	042000					
			記入者	赤羽	電話	2461					
事業期間	平成	年度	～	平成	年度						
	第8次基本 計画の位置 付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				予算 科目	会計 一般会計			
		3	生活環境を保全するまちをつくる					款・項 衛生費 保健衛生費			
	1	市民生活にうおいとやすらぎを与えるまちをめざす				大業 環境衛生指導費					
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)						
		不法投棄の多い山林、河川等を対象とした環境保全			豊かで美しい環境の街「松本市」を不法投棄を防ぐことで、自然環境を守ると共に市民が不快な思いをしない街づくりを進める。						
	事業内容 ・計画	内 容				基礎となる計画					
		不法投棄を無くす(させない)為に、不法投棄防止フェンスを市内3箇所に設置します。 不法投棄防止看板の設置及び中心市街道路にポイ捨て防止啓発用シールの貼付を行います。 不法投棄常習箇所のパトロールを年間を通して行います。									
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
			松本地域廃棄物不法投棄防止対策の協議 不法投棄防止パトロール 「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」という 期間を設け監視や啓発活動を一斉実施		松本市ポイ捨て防止等及び 環境美化に関する条例						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値					
	不法投棄量		t	37×80%=29.6		29.6					
	不法投棄常習箇所のパトロール日数		日/週	年間実績による(H20)		5.0					
2 事業執行 (DO)	項 目	単 位	実 績			見 込		3 評価・ 分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H21年度		必要性	A	A
	(内 訳)	総事業費	万円	1,264.0	1,381.2	1,336.2	1,311.2	有効性	A	A	
		事業費	万円	244.0	348.0	297.0	272.0		効率性	A	B
		国・県補助金	万円						公平性	A	A
		市(一般)	万円	244.0	348.0	297.0	272.0		優先性	A	B
		市(起債)	万円						総合評価	A	A
		その他( )	万円						3年間の実績から事業を行うことで 不法投棄量が約半分に減少しました。 年間を通じてパトロールを実施する ことで早期発見、早期対応が可能で す。		
	(職 員 数)	減価償却費	万円					4 展 開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
		人件費	万円	1,020.0	1,033.2	1,039.2	1,039.2		拡大	委託化	
		正規職員	人	1.20	1.20	1.20	1.20		継続	市民参加	
		嘱託職員	人						縮小	事業主体の見直し	
		臨時職員	人					廃止	手続きの見直し		
		合計	人	1.20	1.20	1.20	1.20	休止	業務の見直し		
		事業費に対する収入等の割合	%					統合	規模の見直し		
コスト	単位当たりコスト	円					市民協働	より豊かで美しい環境の街「松本市」づくりをめざすため継続。			
	市民一人当たりコスト	円	55	60	59	58					
	不法投棄量	t	73	49	37	H20目標達成率					
指標	対前年度伸び率	%		67.1	75.5	80.0%	備考				
	不法投棄常習箇所のパトロール日数	日/週	5.0	5.0	5.0	H20目標達成率					
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	100.0%					

平成21年度 施策評価票

政策の柱	美しい環境を大切に未来につなぐまち	主要施策目標	生活環境を保全するまちをつくる
基本施策目標	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす		施策番号 4-3-3

主管課	市民環境部 環境清掃課		関係部課	市民生活課・環境保全課			
記入者	赤沢	電話	2461				
施策の概要	目的			対象			
	市民ニーズを踏まえた廃棄物の適正処理や、霊園の整備、公衆トイレの維持管理等により、安全・安心と適正管理に配慮した環境衛生施設を整備するまちをめざします。			全市民・事業者・行政			
	現状			展開の方針			
廃棄物処理施設については、一定の整備がされ、それらの施設の適正な維持管理が求められている。 霊園施設については、計画的に拡張事業が進められ、既存施設の維持補修も進められおり、また葬祭施設とともに、適正な維持管理が行われている。 また、公衆トイレについても、維持補修・定期清掃等により、適正管理が行われている。			廃棄物処理・霊園・葬祭・公衆トイレ等、環境衛生にかかわる施設の整備は、市民ニーズを的確に捉え、安全に配慮し、適正な管理と利用しやすさを考慮した整備を進めます。 また、最終処分場延命化のため、ごみ減量・リサイクルの推進に取り組み、ごみ収集有料化の是非の検討、施設の利便性の向上により、適正なごみ処理対策を進めます。				
市民効果指標	指標名	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H22年度	達成率
	公衆トイレ整備数	箇所	32	32	32	31	103.2% AA
	最終処分場埋立量減少率	%	95.6	99.1	88.7	95.0	107.1% AA
	市民1日1人当たりごみ量	g	1,344	1,286	1,233	1,200	97.3% A
第8次基本計画目標値	中山霊園拡張整備墓所数	基	8,019	8,019	8,315	8,919	93.2% A
	公衆トイレがきれいに保たれていると思う市民の割合	%	37.1(H16)	-	37.8	58.0	65.2% C
	生活環境に対する市民の満足度	%	60.1(H16)	-	45.8	83.0	55.2% D
市民満足度調査結果	項目		そう思う割合		ややそう思う割合		得点
	地域の公衆便所がきれいに保たれている		H20	7.5%	30.3%	3.20	
			H16	9.3%	27.8%	3.13	
	河川や地下水がきれいに保たれている		H20	13.9%	41.5%	3.46	
			H16	12.0%	34.1%	3.15	
	補足・説明等						

主要事務事業の評価結果

	上段：事務事業名	実績及び見込（上段：事業費（万円）、下段：職員数）				評価結果		展開の方向	今後の方向性
	下段：担当課名	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	1次	2次		
1	霊園管理事業	4,202.6	4,353.7	4,690.1	4,805.0	A	B	継続	指定管理者制度を導入し、霊園管理の効率化とサービス向上
	市民生活課	14.80	14.80	17.10	17.10				
2	墓所補修整備事業	2,756.3	1,150.9	1,099.9	1,408.8	AA	B	継続	第2次造成区域についても補修整備を進める
	市民生活課	0.50	0.50	0.50	0.50				
3	中山霊園第3次造成事業	2,700.0	65,384.0	37,634.0	12,820.0	AA	B	継続	4㎡の希望が多く、整備区画数の変更が必要
	市民生活課	1.00	1.00	1.00	0.50				
4	墓地台帳整備事業			543.0	247.0	AA	B	継続	不明墓所の縁故者等調査無縁改葬事業により墓所の再貸付を行う
	市民生活課			1.30	1.30				
5	葬祭センター管理運営事業	11,788.0	11,747.0	12,378.0	12,420.0	AA	A	継続	サービス向上に向けて仕様の中味を検討し、指定管理を更新
	市民生活課	0.20	0.20	0.20	0.20				
6	公衆便所維持管理	4,088.0	3,784.0	2,227.0	2,232.0	A	A	継続	施設の維持を図り、改築時にはユニバーサルデザインに配慮した施設計画
	環境保全課	1.00	1.00	1.00	1.00				
7	焼却灰資源化事業			3,421.0	3,308.0	AA	A	拡大	処分量を増やし、再資源化について、環境負荷の低い手段等を検討
	環境清掃課			1.00	0.10				
8	エコトピア山田維持管理事業	4572.2	3,437.3	4,688.7	5,536.0	A	A	継続	環境保全と維持管理費縮減のために、場内整備を検討
	環境清掃課	6	6.00	5.00	5.00				
9	松本西部広域施設組合負担金	207,572.8	190,068.0	200,246.0	202,471.0	AA	A	継続	適正なごみ処理を進め、効率的な運用を目指す
	環境清掃課	0.10	0.10	0.10	0.10				
10	松本市リサイクルセンター維持管理			656.1	612.7	A	B	継続	分別排出の徹底をPRし、有効的な施設利用を推進する
	環境清掃課			4.00	4.00				

区分	施策の事業展開							4-3-3
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H23以降	備考
霊園施設整備・維持管理	霊園管理事業(市民生活課)							A 継続
	墓所補修整備事業(市民生活課)							B 継続
	中山霊園第3次造成事業(市民生活課)							B 継続
	墓地台帳整備事業(市民生活課)							B 継続
	不明墓所整理事業(市民生活課)							
	中山霊園マレットゴルフ場拡張事業(市民生活課)							
葬祭施設整備・維持管理	葬祭センター管理運営事業(市民生活課)							A 継続
公衆トイレ整備・維持管理	公衆便所維持管理(環境保全課)							A 継続
廃棄物処理施設整備・維持管理	焼却灰資源化事業(環境清掃課)							A 拡大
	エコピア山田維持管理事業(環境清掃課)							A 継続
	松本西部広域施設組合負担金(環境清掃課)							A 継続
	松本市リサイクルセンター維持管理事業(環境清掃課)							B 継続

施策及び事務事業の体系

総合評価	評価ランク	評価理由	今後の方向性	市民委員会意見
			<p>廃棄物処理施設、霊園、葬祭施設、公衆トイレ等の施設整備は、利用者ニーズ等を集約し、計画的に一定の整備がされている。</p> <p>また、定期的な補修・清掃・点検等により適正な維持管理行われ、安全・安心に対する取り組みが進められている。</p> <p>市民効果指標の達成率が高い。第8次基本計画の達成率は進捗状況に差異はあるが、ほぼ標準的な範囲となっている。市民満足度は高いポイントを得ている。</p>	<p>市民生活にかかわりの深い施設であり、今後もより一層、市民ニーズを的確に捉え、利用者にとって利便性のある施設となるように努めていく。</p> <p>また、ごみ処理料金については、一般廃棄物処理計画策定の経過を踏まえ、有料化の是非を検討する組織を立ち上げる等、適正なごみ処理対策を進めていく。</p> <p>市民委員会からの男女別トイレ設置の意見については、ユニバーサルデザインに配慮した施設計画として、検討していく。</p>

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名	霊園管理事業（梓川霊園管理事業、奈川霊園管理事業含む）	1
-------	-----------------------------	---

事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	担当部課	市民環境部 市民生活課	課コード	041000
		記入者	榛葉	電話	1415

第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち	予算科目	会計	霊園特別会計
	3	生活環境を保全するまちをつくる		款・項	霊園費 霊園費
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす		大業	霊園管理費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
		市営7霊園（中山霊園、並柳霊園、蟻ヶ崎霊園、あずさがわ霊園、上野霊園、横沢霊園、奈川霊園）	霊園使用者が安全で安らぎのある環境で墓参ができるように、霊園の適正な管理を推進し、利用しやすい霊園にすることを目指します。

2 事業内容・計画	内 容		基礎となる計画
	1 新規霊園使用者の許可情報、使用権承継、使用者住所異動などの変更事項を台帳に即時的に反映して台帳の正確性を保持するとともに、使用者からの問い合わせに的確に応えるようにします。 2 霊園内の芝刈、樹木剪定など、環境美化を推進し、霊園内の巡視を継続し園内における危険予防と早期発見に努めます。 3 霊園管理手数料の収納率向上に努めます。		
	市民要望（ニーズ）等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
	霊園に対する市民からの評価は高いため、よりよい霊園環境の整備・拡充を継続します。	国・県には公設の霊園はありません。	墓地、埋葬等に関する法律 松本市霊園条例 松本市霊園条例施行規則

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	管理手数料収納率	%	収入済額 ÷ 調定額	95.0

2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価		
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度						
事業費	総事業費	万円	8,729.6	8,901.5	9,674.5	9,819.4	市営霊園については、霊園使用者、墓参者、市民から高い評価を得ています。指定管理者制度を導入し、使用者の利便性・快適性の向上を図ります。	必要性	AA	A		
	事業費	万円	4,202.6	4,353.7	4,690.1	4,805.0		有効性	AA	B		
	（内訳）							効率性	A	B		
	国・県補助金	万円						公平性	A	B		
	市（一般）	万円	2.1	140.2	428.0	405.4		優先性	B	B		
	市（起債）	万円						総合評価	A	B		
	（職員数）						展開の方向	展開の手段				
	減価償却費	万円						拡大	委託化			
	人件費	万円	4,527.0	4,547.8	4,984.4	5,014.4		継続	市民参加			
	正規職員	人	2.80	2.80	2.80	2.80		縮小	事業主体の見直し			
嘱託職員	人	1.00	1.00	1.00	1.30	廃止	手続きの見直し					
臨時職員	人	11.00	11.00	13.30	13.00	休止	業務の見直し					
合計	人	14.80	14.80	17.10	17.10	統合	規模の見直し					
コスト	事業費に対する収入等の割合	%	100.0	96.8	90.9	91.6	4 展開 (ACTION)					
指標	霊園使用者数	人	11,075	11,145	11,399	11,726				指定管理者制度を導入し、霊園管理の効率化とさらなるサービスの向上をめざす。		
	単位当たりコスト	円	7,882	7,987	8,487	8,374						
	市民一人当たりコスト	円	382	390	424	431						
管理手数料収納率	%	92	90	89	H20目標達成率							
	対前年度伸び率	%		98.4	98.7	93.9%						
	対前年度伸び率	%		-	-	H20目標達成率						
市民協働												
備考												

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名	墓所補修整備事業	2
-------	----------	---

事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 24 年度	担当部課	市民環境部 市民生活課	課コード	041000
		記入者	澤田	電話	1413

第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち	予算科目	会計	霊園特別会計
	3	生活環境を保全するまちをつくる		款・項	霊園費 霊園費
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす		大事業	墓所補修整備事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を) 昭和42年の開園以来、老朽化した霊園施設	意図(どういう状態にしたいのか) 計画的に改修し、快適で安らぎのある墓地公園として整備していきます。
-------------	-------	-----------------------------------	---

2 事業内容 (PLAN)	事業内容・計画	内 容 1 道路整備工事 2 維持補修工事(未舗装道路・駐車場舗装、墓所内園路・階段の改修等) 3 トイレ改修工事 4 水道管改修工事 5 その他工事(修繕、下草刈等)	基礎となる計画 松本市総合計画(第8次基本計画)
		市民要望(ニーズ)等の状況 1 墓所使用者:墓所内園路・階段が歩きにくく、危険 2 墓所使用者・公園利用者共通:トイレ、給水施設の不足等	国・県・民間等における類似事業 国・県に公設霊園はありません。 根拠法令等 墓地、埋葬等に関する法律 松本市霊園条例

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	階段の整備必要個所	カ所	必要個所17カ所	17.0
	手摺の設置必要個所	カ所	必要個所30カ所(23年度目標)	22.0

2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度				
		総事業費	万円	3,181.3	1,581.4	1,532.9	1,841.8		必要性	AA	A
		事業費	万円	2,756.3	1,150.9	1,099.9	1,408.8		有効性	AA	B
		(内訳)							効率性	A	A
		国・県補助金	万円						公平性	AA	B
		市(一般)	万円	2,756.3	1,150.9	1,099.9	1,408.8		優先性	AA	B
		市(起債)	万円						総合評価	AA	B
		その他( )	万円						中山霊園は日頃の管理により、良い状態が保たれています。しかし、経年変化による老朽化により、使用者の安全性、利便性を保つことが困難になっている個所があり、施設の改修は急務となっています。		
		減価償却費	万円						展開の方向		
		人件費	万円	425.0	430.5	433.0	433.0		拡大		委託化
		(職員数)							継続		市民参加
		正規職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50		縮小		事業主体の見直し
		嘱託職員	人						廃止		手続きの見直し
		臨時職員	人						休止		業務の見直し
合計	人	0.50	0.50	0.50	0.50	統合		規模の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					4 展開 (ACTION)					
コスト						階段の整備必要個所	カ所		7	H20目標達成率	
単位当たりコスト	円					対前年度伸び率	%		-	41.2%	
市民一人当たりコスト	円	139	69	67	81	手摺の設置必要個所	カ所		7.0	H20目標達成率	
指標						対前年度伸び率	%		-	31.8%	
市民協働						第1次造成区域を中心に補修整備事業を行ってきた、状態を確認しながら第2次造成区域についても補修整備を進める。					
備考											



平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		中山霊園第3次造成事業				3					
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 30 年度				担当部課	市民環境部 市民生活課	課コード	041000		
						記入者	澤田	電話	1413		
	第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				予算科目	会計	霊園特別会計		
		3	生活環境を保全するまちをつくる					款・項	霊園費	霊園費	
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす				大業	中山霊園第3次造成事業費				
2 事業執行 (DO)	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)					
		中山霊園				新規の墓地需要に応えるため、既存の霊園の南側8.4haを霊園として造成したところに、区画を整備していくものです。					
	事業内容・計画	内 容				基礎となる計画					
		墓地の整備は、国の指針により地方公共団体が行うこととなっています。市では中山霊園に第1次、第2次造成事業で約8,000基の墓所を整備しましたが、新規の墓地需要(下記墓地需要調査より)に対応するために、第3次造成事業を行い約2,100基の墓所を造成するものです。(中山霊園全体で約10,000基となります。)				松本市総合計画(第8次基本計画)					
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
	中山霊園墓地需要調査による推計、2,048基~3,422基		国・県に公設霊園はありません。		墓地、埋葬等に関する法律 松本市霊園条例						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値				
	中山霊園拡張整備墓所数		基				8,919.0				
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単位	実 績			見 込		評価項目	第1次評価	第2次評価	
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度		必要性	AA	A	
	総事業費	万円	3,550.0	66,245.0	38,500.0	13,253.0		有効性	AA	B	
	事業費	万円	2,700.0	65,384.0	37,634.0	12,820.0		効率性	AA	A	
	(内訳)	国・県補助金	万円						公平性	AA	B
		市(一般)	万円	870.0	14,764.0	-17,643.8	1,072.0		優先性	AA	B
		市(起債)	万円	1,830.0	50,620.0	45,040.0			総合評価	AA	B
		その他(使用料)	万円			10,237.8	11,748.0		墓地の需要は常にあり、安価な墓地を長期にわたって安定的に提供する必要があります。		
		減価償却費	万円								
	人件費	万円	850.0	861.0	866.0	433.0					
	正規職員	人	1.00	1.00	1.00	0.50					
	嘱託職員	人									
	臨時職員	人									
	合計	人	1.00	1.00	1.00	0.50					
	事業費に対する収入等の割合	%			27.2	91.6		展開の方向	展開の手段		
コスト	単位当たりコスト	円						拡大	委託化		
	市民一人当たりコスト	円	155	2,901	1,687	582		継続	市民参加		
	中山霊園拡張整備墓所数	基	8,019	8,019	8,315	H20目標達成率		縮小	事業主体の見直し		
指標	対前年度伸び率	%		100.0	103.7	93.2%		廃止	手続きの見直し		
		%	0.0	0.0	0.0	H20目標達成率		休止	業務の見直し		
	対前年度伸び率	%		-	-			統合	規模の見直し		
市民協働											
備考	安価な墓地を長期にわたって安定的に提供する。現在4㎡と6㎡の貸出しを行っているが、経済状況を反映し4㎡の希望が多いので、4㎡と6㎡の整備区画数の変更が必要。										

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		墓地台帳整備事業				4				
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 21 年度				担当部課	市民環境部 市民生活課	課コード	041000	
						記入者	澤田	電話	1413	
	第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				予算科目	会計	霊園特別会計	
		3	生活環境を保全するまちをつくる					款・項	霊園費 霊園費	
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす				大業	墓地管理台帳整備事業費			
2 事業執行 (DO)	事業の目的	対象(誰を・何を) 市営霊園墓地管理台帳 使用者の特定できない墓所				意図(どういう状態にしたいのか) 墓地管理台帳をOA化し、使用者・区画情報の検索や編集、 霊園管理手数料の管理の簡素化と効率化を図ります。				
	事業内容・計画	内 容					基礎となる計画			
		梓川・奈川の合併(460基)及び中山霊園第3次造成(2,100基)による管理墓地数の増加に対応するため、市営霊園墓地管理台帳13,500基分再整備とOA化を行い使用者情報の検索や編集、霊園管理手数料の管理の簡素化と効率化を図ります。								
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
	墓地に係る照会等に対する迅速な対応		国・県に公設霊園ありません。		墓地、埋葬等に関する法律 松本市霊園条例					
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値			
	データ管理基数		基				13,500.0			
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単位	実 績			見 込		評価項目	第1次評価	第2次評価
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度				
	(内 訳)	総事業費	万円			974.8	778.8	必要性	AA	A
		事業費	万円			543.0	247.0	有効性	AA	A
		国・県補助金	万円					効率性	A	B
		市(一般)	万円			543.0	247.0	公平性	AA	B
		市(起債)	万円					優先性	AA	B
		その他( )	万円					総合評価	AA	B
	(職員数)	減価償却費	万円					適正な墓地管理のため、墓地管理システムの改修・整備を行う必要があります。		
		人件費	万円			431.8	531.8			
		正規職員	人			0.30	0.30			
		嘱託職員	人				1.00			
		臨時職員	人			1.00				
		合 計	人			1.30	1.30			
		事業費に対する収入等の割合	%							
コスト	単位当たりコスト	円					展開の方向	展開の手段		
	市民一人当たりコスト	円			43	34	拡大	委託化		
							継続	市民参加		
指標	データ管理基数	基			13,500	H20目標達成率	縮小	事業主体の見直し		
	対前年度伸び率	%			-	100.0%	廃止	手続きの見直し		
							休止	業務の見直し		
	対前年度伸び率	%			-		統合	規模の見直し		
市民協働										
備考	墓地管理台帳の再整備を進める中で、不明墓所の縁故者等調査を行い、その解消を図るとともに、無縁改葬事業により、墓所の再貸付を行う。									

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		葬祭センター管理運営事業				5	
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成	年度	~	平成	年度	
	担当部課	市民環境部		市民生活課		課コード	041000
	記入者	村山		電話	1415		
	第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち				会計
	3	生活環境を保全するまちをつくる				款・項	衛生費 保険衛生費
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす				大業	葬祭センター管理運営費
2 事業執行 (DO)	事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)		
		葬祭センター			指定管理者に委託することにより市民の終焉の場にふさわしい施設として適正な管理を行い市民サービスの向上に努めます。		
	事業内容・計画	内 容				基礎となる計画	
		1 平成17年4月1日から指定管理者制度導入 2 指定管理者モニタリングにより利用者の要望を確認 3 計画的かつ効率的な火葬炉設備等の維持補修による適正な施設管理及び延命化 4 排煙のダイオキシン類調査することにより周囲の環境保全					
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等		
	H20モニタリング結果 ・環境もよく全ての点で満足 ・職員の言葉に心がこもっていた ・トイレにてすりをつけてほしい		なし		松本市葬祭条例 松本市葬祭条例施行規則		
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値	
	アンケートの職員の対応		%	良い,非常に良い/総数×100		90.0	
3 評価・分析 (CHECK)	項 目	単位	実 績			見 込	
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
	総事業費	万円	14,981.2	14,942.4	15,574.4	15,616.4	
	事業費	万円	11,788.0	11,747.0	12,378.0	12,420.0	
	(内訳)						
	国・県補助金	万円					
	市(一般)	万円	8,601.0	8,726.0	9,254.0	9,284.0	
	市(起債)	万円					
	その他(利用料)	万円	3,187.0	3,021.0	3,124.0	3,136.0	
	減価償却費	万円	3,023.2	3,023.2	3,023.2	3,023.2	
	人件費	万円	170.0	172.2	173.2	173.2	
	(職員数)						
	正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20		
事業費に対する収入等の割合	%	27.0	25.7	25.2	25.2		
4 展開 (ACTION)	コスト						
	取扱件数	件	3,202	3,352	3,393	3,200	
	単位当たりコスト	円	46,787	44,578	45,902	48,801	
	市民一人当たりコスト	円	656	654	682	686	
	指標						
アンケートの職員の対応	%		77.0	79.7	H20目標達成率		
対前年度伸び率	%		-	103.5	88.6%		
対前年度伸び率	%		-	-	H20目標達成率		
市民協働	展開の方向						
備考	展開の方向		展開の手段				
	拡大	継続	委託化				
	縮小	市民参加					
	廃止	事業主体の見直し					
	休止	手続きの見直し					
	統合	業務の見直し					
		規模の見直し					
	平成22年3月31日に指定管理者の委託期限が終了するため、サービス向上に向けて仕様の中味を検討し、見直しを含め、指定管理を更新。						

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		公衆便所維持管理				6				
事業期間		昭和 38 年度 ~ 平成 年度		担当部課	市民環境部 環境保全課	課コード	041500			
				記入者	須山	電話	1421			
第8次基本計画の位置付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち			予算科目	会計	一般会計			
	3	生活環境を保全するまちをつくる				款・項	衛生費・清掃費			
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす				大業	公衆便所管理費			
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)					
	市民や観光客が利用する市街地や道路脇等に単独に設置された公衆便所		利用状況に応じた清掃や、修繕などにより公衆便所を清潔で気持ちよく利用できるようにする。							
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆便所の清掃 毎日、1日1~3回(業者等による委託)</li> <li>施設の点検・修繕及び消耗品の補充等</li> <li>公衆便所の改築計画等</li> </ul>		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等			
成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値			
	公衆便所の設置数		カ所				31			
	トイレトーパー使用量		個				9,000.0			
2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)			
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度		評価項目	第1次評価	第2次評価
	総事業費	万円	4,354.0	4,051.0	2,499.0	2,504.0		必要性	A	A
	事業費	万円	4,088.0	3,784.0	2,227.0	2,232.0		有効性	A	A
	(内訳)							効率性	A	B
	国・県補助金	万円						公平性	AA	AA
	市(一般)	万円	4,088.0	3,784.0	2,227.0	2,232.0		優先性	A	B
	市(起債)	万円						総合評価	A	A
	その他( )	万円						365日24時間だれでも利用できる、市街地には必要かつ有効な施設である。使用頻度に応じた清掃を実施し、点検・修繕を行い、施設の清潔感を保ち衛生環境を維持している。		
	減価償却費	万円						展開の方向		
	人件費	万円	266.0	267.0	272.0	272.0		展開の手段		
	(職員数)							拡大	委託化	
	正規職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00		継続	市民参加	
	嘱託職員	人						縮小	事業主体の見直し	
	臨時職員	人						廃止	手続きの見直し	
合計	人	1.00	1.00	1.00	1.00	休止	業務の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					統合	規模の見直し			
コスト						4 展開 (ACTION)				
単位当たりコスト	円					清掃回数の見直しや適切な修繕を行うことで施設の維持を図り、改築時にはユニバーサルデザインに配慮した施設計画とする。				
市民一人当たりコスト	円	191	177	109	110					
指標										
公衆便所の設置数	カ所	32	32	32	H20目標達成率					
対前年度伸び率	%		100.0	100.0	103.2%					
トイレトーパー使用量	個	9,425.0	8,446.0	7,903.0	H20目標達成率					
対前年度伸び率	%		89.6	93.6	87.8%					
市民協働										
備考										

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		焼却灰資源化事業				7	
1 概要 (PLAN)	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	市民環境部 環境清掃課	課コード	042000	
			記入者	両角	電話	2461	
	第8次基本計画の位置付け	4 3 3	美しい環境を大切に して未来につなぐまち 生活環境を保全する まちをつくる 市民ニーズに対応した 環境衛生施設の適正な 整備をめざす	会計 款・項 大事業	一般会計 衛生費・清掃費 塵芥埋立処理費		
	事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)			
2 事業執行 (DO)	事業内容・計画	内 容			基礎となる計画		
		松本クリーンセンターから排出される焼却灰の内、約1,000トン埋め立て処分せずに、再資源化業者に引き渡し、人口砂として再生する。生成された人口砂は再資源化業者の所有物となり、採石業者等へ売却される。			松本市一般廃棄物処理計画		
		市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業		根拠法令等		
		最終処分場の地元住民からは、焼却灰に加え、集じん灰、さらに埋立済みの灰についても資源化するよう要望が出ています。					
3 評価・分析 (CHECK)	成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等		H22目標値	
		最終処分場の残余年数	年	焼却灰埋立区画の残容量 ÷ 年間焼却灰埋立量		15.0	
4 展開 (ACTION)	事業費 (内訳)	項目	単位	実績		見込	
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
		総事業費	万円			3,507.7	3,394.6
		事業費	万円			3,421.1	3,308.0
		国・県補助金	万円				
		市(一般)	万円			3,421.1	3,308.0
		市(起債)	万円				
		その他( )	万円				
		減価償却費	万円				
		人件費	万円			86.6	86.6
	職員数	正規職員	人			0.10	0.10
		嘱託職員	人				
		臨時職員	人				
		合計	人			0.10	0.10
コスト	処理量				993	1,000	
	単位当たりコスト	円			35,324	33,946	
	市民一人当たりコスト	円			154	149	
指標	最終処分場の残余年数	年			17	H20目標達成率	
	対前年度伸び率	%			-	113.3%	
	対前年度伸び率	%			-	H20目標達成率	
市民協働	展開の方向						
備考	展開の方向		展開の手段				
	拡大		委託化				
	継続		市民参加				
	縮小		事業主体の見直し				
	廃止		手続きの見直し				
	休止		業務の見直し				
	統合		規模の見直し				
	処分量を増やすとともに、再資源化の方法について、より環境負荷の低い手段等について検討。						

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		エコトピア山田維持管理事業				8					
1 概要 (PLAN)	事業期間	昭和 45 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	市民環境部 環境清掃課	課コード	042000					
				記入者	両角	電話	2461				
	第8次基本 計画の位置 付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち	予算 科目	会計	一般会計					
		3	生活環境を保全するまちをつくる		款・項	衛生費・清掃費					
3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす	大事業	塵芥埋立処理費、滲出液処理施設維持管理費								
事業の 目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）							
	最終処分場（エコトピア山田）			焼却灰、集じん灰および埋立ごみを適正に処分し、周辺環境を保全する。							
	内 容			基礎となる計画							
	松本クリーンセンターから排出される焼却灰、集塵灰および家庭から収集した埋立ごみを埋め立て処分する。埋立ごみについては可燃分等を取り除き、破碎処理した後、埋め立てる。 施設を通過した雨水を集水し、下水道へ放流する。放流水、井水等の水質検査、悪臭測定、ダイオキシン類検査等を実施し、周辺環境に影響を及ぼさないよう施設を管理する。 蛍光管をリサイクルするため破碎処理し、ガラス屑等と水銀に分離し保管する。			松本市一般廃棄物処理計画							
事業内容 ・計画	市民要望（ニーズ）等の状況			国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
	埋立量を減らし、将来的には現在埋立済みの灰等を掘り起こして無害化するよう地元から要望されています。					一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令					
	指標名称			単位	指標の計算式等		H22目標値				
成果指標 活動指標	埋立減少率			%	当該年度埋立量 ÷ 前年度埋め立て量		95.0%				
2 事業執行 (DO)	項 目	単 位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度		必要性	AA	AA	
	（内 訳） 事業費 （職員数）	総事業費	万円	9,088.2	7,318.3	7,730.7	8,678.0	4 展 開 (ACTION)	有効性	A	A
		事業費	万円	4,572.2	3,437.3	4,688.7	5,536.0		効率性	A	B
		国・県補助金	万円						公平性	A	A
		市（一般）	万円	3,999.1	2,940.9	4,454.4	5,329.0		優先性	A	B
		市（起債）	万円						総合評価	A	A
		その他（ ）	万円	573.1	496.4	234.3	207.0		表流水を円滑に排除し、場内の保有水量を低減することで、下水道料、電気料を縮減する余地がある。		
		減価償却費	万円						展開の方向		展開の手段
		人件費	万円	4,516.0	3,881.0	3,042.0	3,142.0		拡大		委託化
		正規職員	人	5.00	4.00	3.00	3.00		継続		市民参加
		嘱託職員	人	1.00	1.00	1.00	2.00		縮小		事業主体の見直し
	臨時職員	人		1.00	1.00		廃止		手続きの見直し		
	合計	人	6.00	6.00	5.00	5.00	休止		業務の見直し		
	事業費に対する収入等の割合	%	12.5	14.4	5.0	3.7	統合		規模の見直し		
コスト	年間埋立量	トン	13,740	13,621	12,088	12,088	環境保全と維持管理費縮減のために、場内整備を検討。				
	単位当たりコスト	円	6,614	5,373	6,395	7,179					
	市民一人当たりコスト	円	398	321	339	381					
指標	埋立減少率	%	95.6%	99.1%	88.7%	H20目標達成率					
	対前年度伸び率	%		103.7	89.5	93.4%					
	対前年度伸び率	%		-	-	H20目標達成率					
市民協働											
備考											

平成21年度 事務事業評価票 (補助金・負担金用)

事務事業名		松本西部広域施設組合負担金				9					
事業期間		11年度 ~ 平成 年度		担当部課	市民環境部 環境清掃課	課コード	042000				
第8次基本計画の位置付け		4	美しい環境を大切に未来につなぐまち		会計	一般会計					
		3	生活環境を保全するまちをつくる		款・項	清掃費・清掃総務費					
		3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす		大業	清掃業務管理費					
概要 (PLAN)	事業の目的	交付先		補助金・負担金等の目的、効果							
	事業内容・計画	補助金・負担金等の算定基準		交付先の具体的な活動内容							
	成果指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値				
	活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値				
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	207,657.8	190,154.1	200,332.6	202,557.6	補助金等の性格	交付先区分	事業者等	
		事業費	万円	207,572.8	190,068.0	200,246.0	202,471.0		種類別	運営費助成	
		国・県補助金	万円						性質	義務的	
		市(一般)	万円	207,572.8	190,068.0	200,246.0	202,471.0		継続性	有	
		人件費	万円	85.0	86.1	86.6	86.6		最終期設定	無	
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	AA	AA
		臨時職員	人						有効性	AA	A
		合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10		効率性	AA	B
		交付先の内容 (内訳)	総事業費	万円	300,372.8	300,372.8	282,932.0		303,505.0	公平性	AA
	市補助金等	万円	207,572.8	190,068.0	200,246.0	202,471.0	優先性	AA	B		
	市以外の補助金等	万円	16,904.5	15,461.3	17,007.0	17,248.8	総合評価	AA	A		
	その他	万円	75,895.5	94,843.5	65,679.0	83,785.2	昨年9月より、従来は焼却処理されていた事業系紙ごみにつき、搬入規制を行い資源化することとし、ごみ減量・資源化の推進を図りました。				
	市の補助率・負担率	%	69.1	63.3	70.8	66.7					
	コスト	単位当たりコスト	円								
市民一人当たりコスト	円	9,091	8,328	8,778	8,899						
指標	市民一人当たりごみ量	g/日	1,344	1,286	1,233	H20目標達成率	展開の方向				
	対前年度伸び率	%		95.7	95.9	97.3%	拡大	ごみ減量・資源化の推進を図り、適正なごみ処理を進め、効率的な運用をめざす。			
	資源化率	%	15.1	14.3	15.5	H20目標達成率	継続				
	対前年度伸び率	%		94.7	108.4	91.2%	縮小				
						廃止					
備考											

平成21年度 事務事業評価票

事務事業名		松本市リサイクルセンター維持管理				10		
		担当 部課	市民環境部	環境清掃課	課コード	042000		
		記入者	大内		電話	2461		
事業期間	20 年度 ~ 平成 年度				会計	一般会計		
第8次基本 計画の位置 付け	4	美しい環境を大切に未来につなぐまち			予算 科目	款・項 衛生費・清掃費		
	3	生活環境を保全するまちをつくる				大事業 ごみ減量対策事業費		
	3	市民ニーズに対応した環境衛生施設の適正な整備をめざす						
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を) 市民を対象に、すべての資源物を排出する機会を増やすもの。			意図(どういう状態にしたいのか) ごみ減量を推進し、循環型社会を形成するため、平日及び土曜日の午前中に常時受け入れ可能な施設がある事で、資源物を出しやすい環境を整える。			
	事業内容 ・計画	内 容 持込可能時間 平日は8:30~12:00 13:00~16:30 土曜日は8:30~12:00(平成20年4月より開設) 持込できる資源物の種類 紙類、金属類、ペットボトル、びん類、布類、蛍光管、体温計、乾電池、シュレッダー 平成20年度持込量 1,034トン 平成20年度手数料 7,192千円			基礎となる計画 松本市一般廃棄物処理計画			
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等		
		多様な生活スタイルに応じた資源物排出機会の増				資源の有効な利用の促進に関する法律 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律		
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値		
	資源物持込量		トン			1,200.0		
	リサイクル率		%	(資源物の量÷一般廃棄物の量)×100		18.0		
2 事業執行 (DO)	項 目	単位	実 績			見込		
			H18年度	H19年度	H20年度	H21年度		
	(内 訳)	総事業費	万円			1,644.1	1,600.7	
		事業費	万円			656.1	612.7	
		国・県補助金	万円					
		市(一般)	万円			-63.1	-38.3	
		市(起債)	万円					
		その他(処分手数料)	万円			719.2	651.0	
	(職 員 数)	減価償却費	万円					
		人件費	万円			988.0	988.0	
		正規職員	人			0.00	0.00	
		嘱託職員	人			3.00	3.00	
		臨時職員	人			1.00	1.00	
		合計	人			4.00	4.00	
		事業費に対する収入等の割合	%			109.6	106.3	
コスト	センター開所日	日			296	296		
	単位当たりコスト	円			55,544	54,078		
	市民一人当たりコスト	円			72	70		
指標	資源物持込量	トン			1,034	H20目標達成率		
	対前年度伸び率	%			-	86.2%		
	リサイクル率	%			18.0	H20目標達成率		
	対前年度伸び率	%			-	100.0%		
市民協働	特になし							
備考								
		3 評価・分析 (CHECK)		4 展開 (ACTION)		5 展開 (ACTION)		
		評価項目		第1次評価		第2次評価		
		必要性		A		A		
		有効性		A		B		
		効率性		A		B		
		公平性		A		A		
		優先性		A		B		
		総合評価		A		B		
		展開の方向		展開の手段				
		拡大		委託化				
		継続		市民参加				
		縮小		事業主体の見直し				
		廃止		手続きの見直し				
		休止		業務の見直し				
		統合		規模の見直し				
		施設の存在が市民に浸透してきており、ごみ減量化を推進するために、今後、分別排出の徹底をPRする。 有効的な施設利用を推進するための環境整備を21年度に予定。						